

山行報告書

作成: 2006年12月5日 愛知岳連 岡崎山岳会

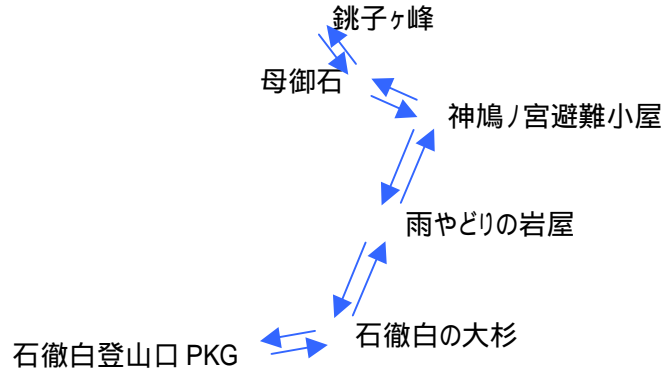
山名[山域]	銚子ヶ峰(1810m)[白山周辺]	目的[方法]	冬籠り前の静かな山歩き
期間	2006年11月26日	形態	日帰りハイキング
参加人数	3人		

行動記録:

11/26(日) 曇り時々小雨

岩津市民センターPKG(430) == 豊田東 IC == 長良川 SA == 美濃関 IC == 白鳥 IC == 石徹白登山口 PKG (726,750)
 -- 石徹白の大杉 (800,805) -- 雨やどりの岩屋 (854,904) -- 神鳩ノ宮避難小屋 (922,952) -- 母御石 (1016) -- 銚子ヶ峰 (1032,1045) -- 母御石 (1056) -- 神鳩ノ宮避難小屋 (1118 昼食 1225) -- 雨やどりの岩屋 (1238) -- 石徹白の大杉 (1315) -- 石徹白登山口 PKG (1324,1340) == 白山中居神社参拝 == 温泉「満天の湯」(1435,1600) == 白鳥 IC == 富加関 IC == 美濃加茂 SA == 豊田東 IC == 岩津市民センターPKG(1826)

概念図:



日誌:

11/26 岡崎を予定通りに出発。白鳥 IC で高速を降り、国道を外れてから白山中居神社までは急勾配の山道だが快適な道走る。更にそこから 20 分ほど細い林道走る。石徹白登山口 PKG は東屋があり、20 台程度は駐車できるが、この日は雨が降りそうな晩秋のため先客が 1 台だった。(この車は前日からで直に帰ったようだ)

出発の準備をしていると、我々の意志を確かめるように雨が降ってきたが、挫折することなく傘をさして登頂開始。いきなり 420 段の階段で始まり、息を切らしながら登りきると樹齢 1800 年の見事な石徹白の大杉に到着。ここから少し上がると尾根道に出る。心配していた雨も取り敢えずあがり、勾配もゆるい快適な尾根歩きが続く。本日はリーダーの許しで、夫々間隔を空けて「冬籠り前の静かな山歩き」を楽しむ。

おたけりの坂の急勾配を上りきると直に神鳩ノ宮避難小屋に到着。小屋は無人だが非常に綺麗で暖房、大型コンロまで置かれている。10 人ぐらいは収容可能で、次に来る時には是非ここで泊まってみたいと思う。小屋を出てから尾根は西方向に回りこみ母御石に向かう。母御石は 2m 程度の大石のことだが、この付近は綺麗な笹原で小屋付近の稜線からは非常に立派な山に見える。

母御石から少し下がった後登り帰すと銚子ヶ峰の頂上に到着。雪の着いた別山の中腹が登ってくる途中で見えていたが、一番良く見ると期待した頂上では雲に隠れ見えなかったのが少し残念であった。それでも大長山、赤兎山、願教寺山を一時的ではあるが見ることが出来、登頂の喜びを味わうことが出来た。

頂上はかなりの風で寒いので早々に引き返し、神鳩ノ宮避難小屋で昼食をとる。小屋にある長机を借りて店を広げ、リーダーの H 氏が持ってきてくれた缶ビールと明宝ハムを頂き充実した昼食タイムを過ごす。小屋を出て、石徹白の大杉の手前で再び雨が降り出し、傘をさして歩き登山口に戻る。

帰路の途中、H 氏の要望により白山中居神社を参拝。神社の周りは大杉がいっぱいあり、本殿の彫刻(江戸時代のもの)も見事でなかなかのもの。H 氏はここによく来ているが参拝は今回が初めてで満足した様子。途中、満天の湯(800 円)に寄り、ETC 割引が使えるように時間調整。高速は紅葉とスキーのシーズンの間のせいか、渋滞もなく無事帰宅。

感想:

紅葉が終わり誰も来ない静かな山を十分に堪能できました。H 氏がお勧めの白山周辺の山の良さを知ることができ、次回は神鳩ノ宮避難小屋泊まりで楽しみたいと思っています。